

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
郡山中央地区

平成24年1月

鹿児島県鹿児島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	区域内人口	人	830	860	862	確定 見込み		あり なし	878	H23年6月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	生活道路や街区公園の整備、土地区画整理事業(関連事業)等により安全で快適な居住環境が形成されてきており、区域内人口が継続的に増加している。
指標2	通学路歩道整備率	%	21	56	47	確定 見込み		あり なし	47	H23年6月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	住民の「歩行者の安全性」に対する満足度は確実に向上しているものの、関連事業の遅れ等により目標には達していない。
指標3	中心部の環境に対する満足度	ポイント	2.9	3.5	3.9	確定 見込み		あり なし	3.9	H23年12月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	環境向上を図る生活道路整備等を進めていることに加えて、街区公園整備等の効果が発現しており、住民の「中心部の環境に対する満足度」が向上してきている。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	まちの中心部への転居者数	人	30	/	41	確定 見込み	/	/	39	H23年6月	/	推定値を若干下回ったが、H22年度も転居者がみられており、中心部への転居者数は確実に増加している。	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	本事業等により安全で快適な居住環境が形成されてきているとともに、まちの中心部としての拠点性が高まっており、中心部への転居者数が増加している。
その他の数値指標2	安全・安心に対する「まち」の満足度	ポイント	3.0	/	4.2	確定 見込み	/	/	4.2	H23年12月	/		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	歩道整備や緑地整備等により、防災面等の安全性が高まっており、住民の「安全・安心に対する満足度」が向上してきている。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/					改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安全で快適な居住環境のための基盤整備の強化	・継続的に道路等の公共施設の整備を推進し、安全で快適な居住環境のための基盤整備の強化を図った。	・安全で快適な居住環境のための基盤整備を創出することができ、H23住民アンケート調査において「住みよい環境が整えられていると実感している」等の意見が得られた。	・継続的に郡山中央地区土地区画整理事業の推進を図る。
	良好な街並み景観形成の更なる推進	・本市の「景観計画」について、HP等による周知を継続するとともに、建築物を建てる地域住民等に対して個別の周知を図った。	・「景観計画」の周知を図る等の取り組みを進めた結果、H23住民アンケート調査において「街並み景観が刻々と充実していくのを楽しみにしている」等の意見が得られた。	・景観形成に対して、地域住民の意識を更に高めるための取り組みを検討する。
	地域資源を活用した環境の維持	・地域の伝統行事である「馬場市」の継続的な開催支援を図るとともに、地域資源の更なる活用方法を検討した。	・安全で快適な居住環境の基盤整備に加えて、伝統行事を継続的に開催したことにより、住民のまちへの魅力・愛着が高まり、区域内人口の増加(指標1参照)に寄与したものと考えられる。	・引き続き、地域の伝統行事の継続的な開催支援を図るとともに、地域資源の更なる活用方法を検討する。 ・地域資源(地域の特徴である豊かな水)等の活用により、地域住民に親しみのある公園が整備できている。これら施設の維持管理において、住民・行政協働で進めていくための検討を図る。
改善策				
・まちづくりの目標を達成するための改善策				
・残された課題・新たな課題への対応策				
・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項